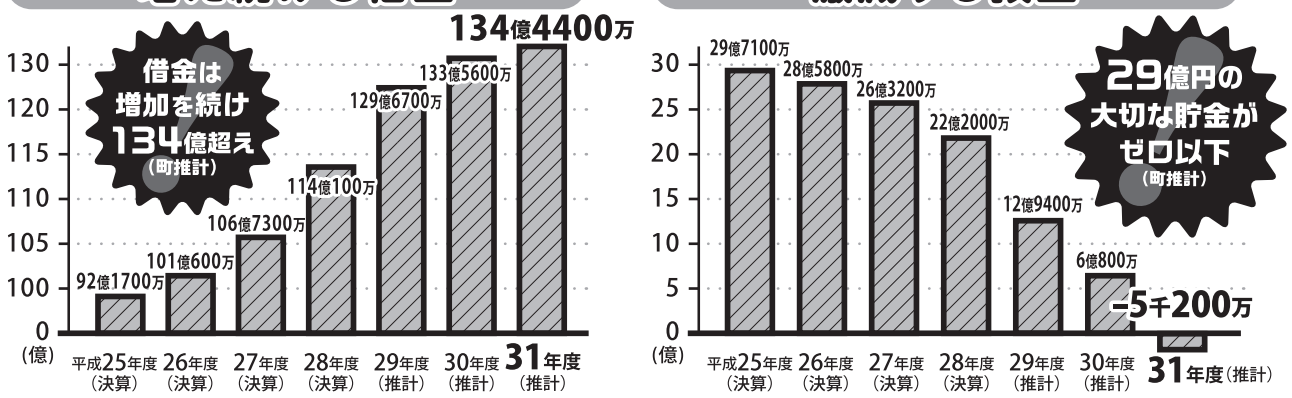
七飯町長選挙　選挙公報

ななえに新しい風。夢と活力ある町へ！



七飯町総務財政課が財政の推移を示したグラフです。（平成28年度決算審査特別委員会資料 平成29年9月）

これ以上の財政悪化を防ぎ「財政健全化」と「行政刷新」を!!

田村としろう“7つの挑戦,,

- **町長の給与を20%減額、歳出削減**
  財政の健全化のため
- **運転免許自主返納者に交通費の助成**
  車から公共交通機関への激変緩和
- **子育て支援に給食費の無償化**
  子育て支援の一環
- **基幹産業の魅力ある施策**
  農業を魅力あるものとして継承
- **女性目線で福祉の充実**
  女性が活躍するための基本施策の実施
- **大沼で大自然を学ぶ環境施策**
  修学旅行生を中心に湿地・自然を学ぶ環境の整備
- **まちの歴史・文化・特産品の発信**
  ブランド化「七飯にしかないもの」を発信

職歴

昭和49年　4月 七飯町役場奉職
平成14年　5月 七飯町社会福祉協議会事務局長
平成17年 12月 生涯教育課長
平成21年　4月 町民生活課長
平成22年　4月 企画財政課長
平成24年　3月 七飯町役場定年退職（38年勤務）
平成27年　4月 七飯町議会議員　当選
平成29年 12月 七飯町議会議員　辞職

最終学歴

東北福祉大学
社会福祉学部社会福祉学科卒業

無所属

田村（たむら）としろう

六十六歳

住みたいまち、住み続けたいまち“七飯町”!!

住民の視点で、全力を尽くします!

安全・安心 任せてください!!　地域の元気 任せてください!!

子どもたちの声が聞こえるまちをつくります
- 児童生徒の状況に応じた教育環境を整備します。
- 18歳までの医療費の無料化を継続します。
- ロタウイルスによる急性胃腸炎予防のため、予防接種費用の一部を助成します。
- 第2子の給食費を半額に、第3子からは無償にします。
- クリーン農業による安全・安心な七飯産の野菜・果樹など食材を増やし、給食を充実させます。
- 子育て支援策を充実するため、子育てタウンミーティングを継続開催します。
- 増え続ける大中山小学校児童数に呼応するため、学童施設、高齢者との交流、大中山出張所を併設した複合施設を建設します。

ぬくもりのあるまちをつくります
- ボランテイアポイント制度を拡充し、障がい者や高齢者の自立支援、生きがいの確保、移動の円滑化を図り、町民同士の絆を深めます。

地域の産業が元気なまちをつくります
- 国際競争力に打ち勝つ農業振興を図るため、集出荷真空予冷庫の整備をはじめとした農業基盤整備を継続します。
- 道の駅での観光資源と地域産業のPR・消費拡大を図り、交流人口を拡大させ、活気あるまちにします。
- 新幹線車両基地を核としたイベントを開催します。

民間の知恵と力を借りて住みやすいまちをつくります
- 本町地域センターを民間活力で改築し、商工会、図書館、金融機関等を併設します。
- 老朽化した校長・教頭住宅は、校区内で民間住宅の活用も含めて検討します。

町民サービスの行き届いたまちをつくります
- 無駄を省き、財源確保に努め、町民サービスの向上を図ります。
- 豪雪にも対応できるよう、除雪・排雪体制を強化します。
- 町長給与の14％減額を継続します。
- 各出張所に行政経験の豊富な職員を配置し、窓口機能の充実を図ります。

地域（地球）環境に配慮したまちをつくります
- きれいな大沼を目指し、水質浄化の研究を継続します。
- 地域特性に応じたふるさと教育の推進を図り、地域を愛する気持ちを育みます。

町民とともに住みたいまち、住み続けたいまちをつくります
- 町内会と連携・協力し、情報の発信と共有に努めます。
- 住民の視点でまちづくり活動への支援を継続します。

無所属

中宮（なかみや）安一（やすかず）

六十三歳

健全財政 任せてください!!　基金は増えて、借金は減らしました

心配しないでください！ 財政は問題ありません。就任以前の平成17年度の状況と、平成28年度末では、基金残高（町の貯金）で2億7千万円増やし、町債（町の借金）はすべて合わせて18億5千万円減らしました。安全・安心のために投資しましたが、健全財政の実績はあります。

道の駅「ないろ ななえ」が開業しました。賑わいがあります。笑顔があります。
災害時には、町民はもとより通行車両の避難場所としての機能や、救援・救助の拠点施設としても活用されます。

この選挙公報は、七飯町選挙公報発行条例（平成 10 年条例第 37 号）第 4 条第 1 項の規定により、候補者から提出された原稿を、そのまま製版の上掲載したものです。